

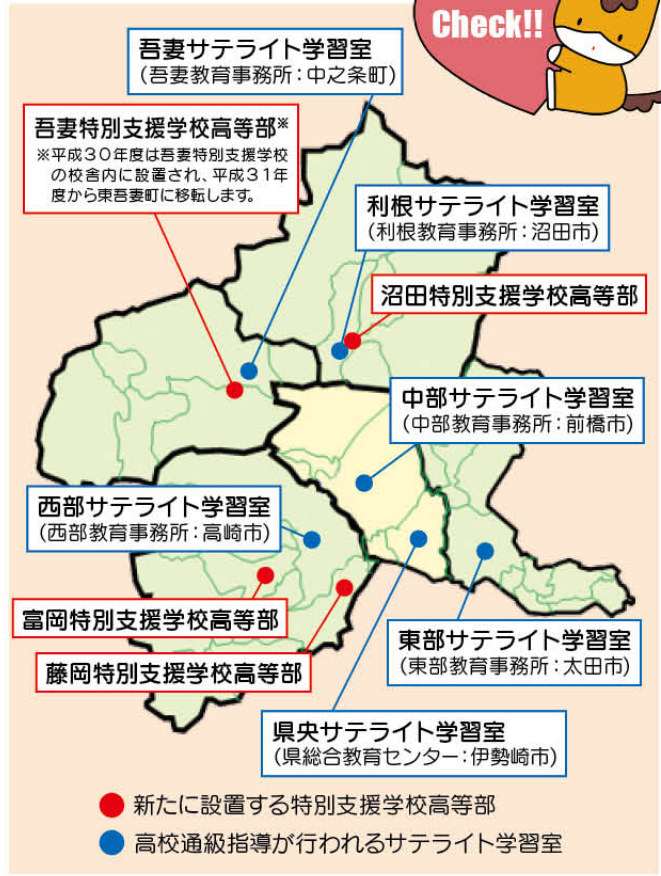
ピックアップ★

平成30年度 ぐんまの特別支援教育の環境はさらに整備されます

特別支援学校高等部の未整備地域が解消されます
 県内で特別支援学校の高等部が未整備だった沼田・藤岡・富岡・吾妻地域に、平成30年度から新たに高等部を開設します。
 県内全域で、中学校や中学部卒業後も身近な地域で安心して学び、地元の事業所や施設と連携した職業自立を目指した教育が受けられるようになります。

高校進学後も通級指導を受けられます
 これまで通級指導教室は、小・中学校にしか設置されていませんでしたが、平成30年度からは高校進学後も通級指導を受けられるようになります。
 群馬県では、子どもたちが高校進学後も通級指導を続けて受けられやすくするため、「サテライト学習室」を各教育事務所や県総合教育センターに設置します。

「サテライト学習室」ってどんなところ？
 発達障害などのある生徒が通常の高校に在籍、通学しながら、放課後などにサテライト学習室へ出向き、生徒に応じた指導が受けられます。



● 問い合わせ：特別支援教育課 027-226-4651

文化財ライブラリー

伝統技法を現代に生かす美

人間国宝 須田賢司さん



昭和29年生まれ
 群馬県甘楽町在住
 木工藝作家

須田賢司さんは、木工芸の中でも、木を差し込んで組み、家具や箱を作る指物技法で作品を制作しています。祖父の代から続く指物師の家に生まれ、父親から木工芸の技法を学びました。楓、黒柿、桑など国内外の銘木を使い、その素材の美しさや色彩を生かしています。「清雅」をキーワードとする作品は、独創的な造形に加え、風雅で気品ある作風が、高く評価されています。
 毎年開かれる文化庁主催の日本伝統工

芸展をはじめ多くの展覧会に出品しており、作品は国内外の多数の美術館に収蔵されています。
 平成15年に群馬県総合表彰、平成22年には紫綬褒章を受章し、平成26年10月23日に重要無形文化財「木工芸」保持者、いわゆる「人間国宝」として認定されました。現在は甘楽町名誉町民としても活躍しています。



楓拭漆嵌装箱「比翼」(甘楽町蔵) 写真提供：甘楽町教育委員会

こちらの作品は、甘楽町の長岡今朝吉記念ギャラリーでご覧いただけます



工房で制作中の須田賢司さん

「人間国宝」ってどんな人？

わが国の伝統的な演劇、音楽、工芸技術その他の無形の「わざ」のことを「無形文化財」といいます。このうち、特に重要な無形文化財を高度に体得している個人を重要無形文化財の保持者として認定し、一般には「人間国宝」といわれています。
 現在、人間国宝は112人おり、本県では、須田賢司さんがただ1人の人間国宝です。

Vol. 9

● 問い合わせ：文化財保護課 027-226-4684